



令和8年1月19日
統合幕僚監部

ロシア海軍艦艇の動向について

令和8年1月17日（土）午後5時頃、海上自衛隊は、与那国島（沖縄県）の南西約60kmの海域において、同海域を北進するロシア海軍ヴィシニヤ級情報収集艦（艦番号「535」）を確認した。

その後、当該艦艇が与那国島の南西から北西にかけての接続水域内を北進した後、18日（日）に宮古島（沖縄県）の北の接続水域内を東進し、さらに、沖縄本島と宮古島との間の海域を東進した後、18日（日）から19日（月）にかけて、沖縄本島の南から東にかけての接続水域内を航行して、太平洋へ向けて航行したことを確認した。

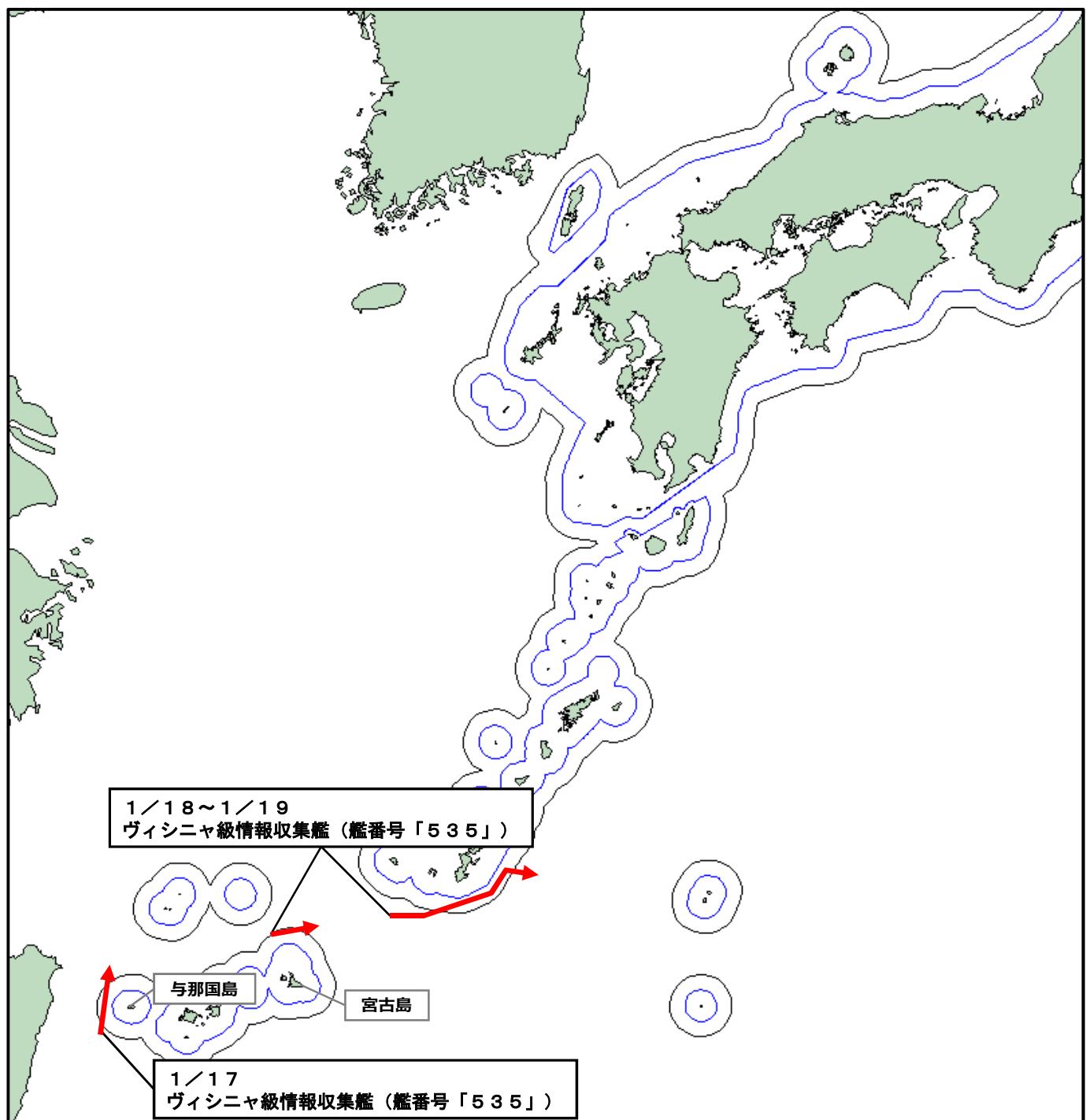
なお、当該艦艇は、1月7日（水）に対馬海峡を南西進し、13日（火）から15日（木）にかけて、与那国島の南西から北にかけての接続水域内を北東進し、宮古島の北から南にかけての接続水域を含む海域を航行したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第1護衛隊所属「いかづち」（横須賀）、第1航空群所属「P-1」（鹿屋）及び第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、警戒監視・情報収集を行った。

ヴィシニヤ級情報収集艦（艦番号「535」）

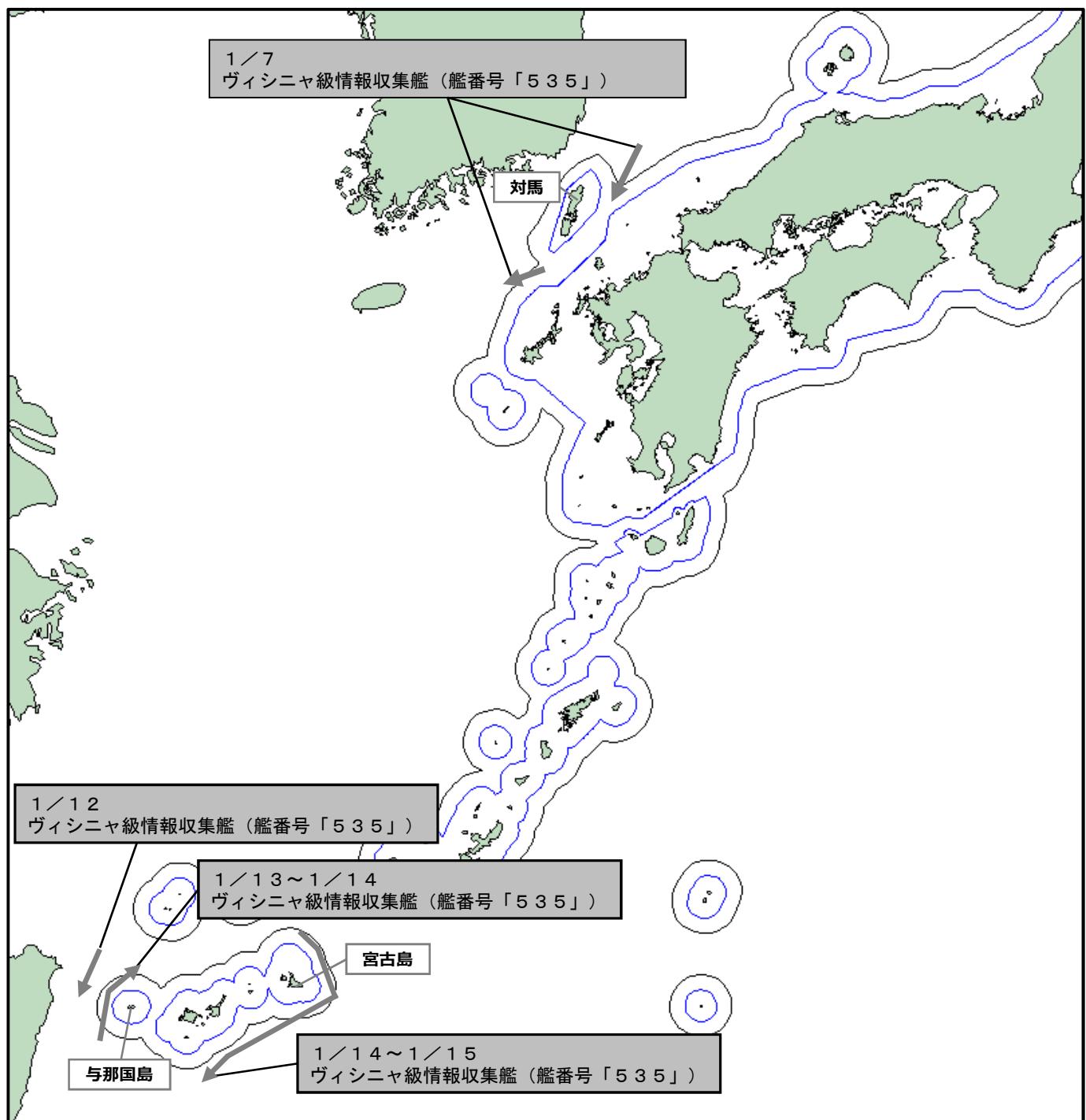


行動概要



→ : ロシア海軍艦艇
□ : 今回公表

行動概要



→ : ロシア海軍艦艇
■ : 既公表